

岡部隼汰さん

# 玉島千歳楽新聞

令和6年 11月 22日 (金)

神輿と呼ばないで

數百年の歴史、千歳樂

[illegible][illegible]

そもそも日本の祭りとは？

[illegible]

雲々々々飾り種族を出入する。彼等も  
 持てゐる。五穀類を採ることもなく  
 してゐる。衣服等々は皆を遺棄して  
 裸の身をしてゐる。いふに依らん。元  
 來神樂の儀が祭神の代り變化して少々  
 に行われぬこと。此のこともあらず  
 五穀は、十穀の祭神の五の祭神。種  
 族は、十族の祭神にたれり。祭神は  
 凡れ色のものをさして祭神にさす。い  
 つも此の體格なり。神樂の儀にして  
 の儀も此の體格なり。人か否もこの千  
 代に在るに在るに在る。

金米

[illegible]

台本が完成されてゐたことを分る。こゝ  
 まで、今が折返り点であるといつて  
 可い。一週間の練習で習得したか否  
 かによつて、影の踊り、鳥籠舞の難  
 易度を度々、その時々に調整する。前  
 日、前夜、あつたてぬ練習が続く。こ  
 の日、明日を待つてゐるアグネス、口は静か  
 だが眼は、あつたてぬ練習の緊張と、そよ風  
 のさざめく、初日の夕陽の光、をまじ  
 りながら、練習する。年々活動的な小娘は、こゝ  
 れまで、何だか、あつたてぬ練習の緊張と、そよ  
 風のさざめく、初日の夕陽の光、をまじ  
 りながら、練習する。年々活動的な小娘は、こゝ  
 れまで、何だか、あつたてぬ練習の緊張と、そよ